

市会議員の方から問い合わせがありましたので、改めて、竹本市議が虚偽発言（■）を重ねていることを、わかりやすい幾つかの事実（太字）で証明します。

2026 年 10 月 20 日 朝日漁業協同組合

（2024 年 9 月）

■尾上漁港は「滋賀県で一番大きな漁港」

これは明らかに事実と反しています。

（2025 年 6 月）

■「砂浜への車両が乗り入れられています。法的にも違反しています」

琵琶湖岸の一般の砂浜に車両の乗り入れを禁止する法律はありません。

（2025 年 9 月）

■「本当の漁業者が、ずっと 50 年間漁業に従事されている方が、うちの組合はおかしくなっているぞと。全然顔を見たことない人がいつの間にかこの施設内をうろうろしている、あるいは乗り入れてきている。名前も知らないような人が入ってきているということをおっしゃっているんですよ。そして、いつの間にか理事に名を連ねていると。これっておかしいだろうって、怒って理事を辞められてしまいましたけれども、その代わりに、また漁業をされてない方が理事です」

事実 この「50 年間漁業に従事されている方」とは嶋田某です。彼が漁協理事を辞めたのは漁協の氷を繰り返し窃盗していたことが発覚したため、今期の理事に出られなかったというのが真相です。朝日漁協は「いつの間にか理事に名を連ねている」というようないい加減な運営はしていません。現在の理事は、2025 年 3 月 1 日の通常総会において選挙で選出され、県へ報告し、登記をしています。この選挙で選ばれた 5 人の理事のうち嶋田他 1 名の代わりに新しく理事になった浦崎好晴と北川和寛の両名は、しっかり漁業を行っています。

（2025 年 9 月）

■「組合の理事に名を連ねておられる方、この方々は就労日数 80 日でしたか、その漁業者としての就労実績がございません」

事実 現在の理事は、杉本敏隆…刺網漁業、松岡正富…養殖、稚魚放流、体験漁業、吉川正文…刺網漁業、浦崎好晴…小型機船底びき網漁業・かご漁業、北川和寛…引縄釣漁業・延縄漁業・かご漁業を営んでいます。5 名とも 90 日以上確かな就労実績があります。

（証明のため理事の個人情報をもとに本人の同意を得て記載していますが、外部に流出しないようにして下さい）

(2026 年 9 月)

■「昨年、自治会と漁業組合、市との協議を開催するという話がありました。11 月にドタキャンされてるわけなんです」「日も決めておいたやつをその日行けない、それで終わりです」

事実の証明 この会合について朝日漁協は「議会で誹謗中傷を重ねている竹本市議が漁協と自治会の協議会に参加すればもめるから、彼をはずさなければ協議会には参加できない」と1週間以上前に市農政課に伝えています。「ドタキャン」とか「その日に行けない」などというのは同市議の作り話です。当時の農政課職員が証人です。

■「この駐車場はできた当時は、だれも止めてもいい駐車場なんですよ」「今まで地域住民も使っていた」

事実の証明 尾上漁港入口の駐車場は 30 年前頃に漁協の要望で湖北町が整備しました。「だれが止めてもいい駐車場」ではなく、当初から「漁協来客用駐車場」という看板をかがけてきました。尾上自治会の人々が日常使うことは全くありません。

■そもそもですね、あのスロープは琵琶湖総合開発で湖周道路ができました。豊公園・浜湖月の前からの道路がずっと片山のトンネルができて、その間に湖周道路ができました。その時にですね、道の駅から水鳥ステーションの北から、当初は道が紅鮎さんの外側、琵琶湖側そこにぐるっと回るようにして計画されました。それは何故かといいますと、漁港をそのまま前の漁港を使うためです。そこに橋をかけてその下を船が通る、ですから尾上漁港を昔のままの漁港を使う、そして道を付けるといいうのが最初の計画だったんです。ところが費用がかかるということで、漁港を従来の漁港を廃止して現在の場所に移転されました。道路も紅鮎さんの前に付けられたわけです。その時に、造船所、松田さんという造船所があったんです。兄弟二人でされてました。その補償、揚げ降ろしができなくなるので、補償であそこに付けられたんです。ですから建屋もその人の名前ですよ。今でも。昨日も確認とりました。息子さん稲枝に住んでおられますので。そのスロープも全部、その人の仕事の補償であそこに付けられてるんです。これは当時の役員さんに確認しました。しかし、その方も亡くなられて、建物はそのまま、でもスロープにつきましては、息子さんもはっきりとですね、その権利をうちが持っているかどうか今はもうわからないと。本来はあそこで揚げ降ろしされてました。私も知ってますし、その方もよく知っている方ですので。ですから亡くなられた時から、そのまま放置、放置というわけじゃないですけどそのまま設置されたままで、そしてまあ船が。ですから、あれはですね、

造船所の船の揚げ降ろしに使われていたんです。そして台風なんかがくると一応避難という形になってますけど、あの港の中で十分その役割はしていました。でもそのスロープについては、その松田さんところがあった。それが経緯なんです。それがその人が亡くなられてしまってから誰が使ってもいいような形になってる。ですから管理者としては市で持っているんですけど、持ち物としては本来、松田さんの方です」

事実の証明 尾上漁港は国の第二次沿岸漁業構造改善事業として整備され、1980 年から供用開始されています。そのスロープ（漁船上架施設）は、漁港の必須付属施設として、別添資料（令和 7 年滋賀の水産）のとおり、朝日漁協を事業主体として 1979 年に整備されました。それを証明する看板も下の写真のとおり現在も残っています。スロープは当初から今日まで、朝日漁協が管理し、維持・補修、経費負担を行ってきました。

他方、湖北町尾上地域の湖周道路建設計画は、漁港が整備された後に出てきたものであり（工事完了は 1991 年）、スロープが「湖周道路建設に係る補償」とか「個人の持ち物」であるはずがありません。

このスロープに係る長々とした発言は、竹本市議がいかに虚偽を重ねる人物であるかをハッキリと示しています。同市議は、事実確認を怠り、漁協に敵対する人物から得た不確かな資料と情報をもとに、一民間団体を誹謗中傷しているのです。このような発言の録画を修正もせず、そのままホームページで公開されている長浜市議会の良識も問われているのではないのでしょうか。



昭和 54 年度第 2 次沿岸漁業構造改善事業
漁船漁具保全施設

(3) 沿岸漁業施設の整備

沿岸地域において、持続的に漁業生産活動を行っていくため、必要な施設整備に対して補助を行っています。漁業生産の基盤となる施設（蓄養・養殖用池、水産物荷さばき場など）や水産物の供給に関する施設（冷凍・冷蔵庫、水産廃棄物処理施設など）を整備しています。

年度	事業名	事業主体	実施箇所	事業内容	総事業費 (千円)
昭和 52	第二次沿岸漁業 構造改善事業	小松漁協	志賀町小松梅の畦952	蓄養池	336㎡ 25,675
		北船木漁協	安曇川町北船木輪ノ内2606	蓄養池	122.5㎡ 21,499
		永原漁協	西浅井町菅浦道出	蓄養池	289㎡ 16,050
		塩津漁協	西浅井町塩津中森下	蓄養池	218㎡ 14,700
		県漁連	マキノ町知内井ノ尾	種苗供給施設 (鉄骨平屋)	210.6㎡ 16,623
				保管作業施設 (鉄骨平屋)	121.5㎡ 11,587
		南浜漁協	びわ町南浜	漁具倉庫 (鉄骨平屋)	408㎡ 13,742
		百瀬漁協	マキノ町知内	漁船修理施設	3,162
				地上タンク	10kℓ 5,600
				上架施設	36㎡ 2,079
		南浜漁協	びわ町南浜	地上タンク	10kℓ 5,387
				冷蔵庫	3,865
		海津漁協	マキノ町西浜	冷凍冷蔵庫	6,413
53	第二次沿岸漁業 構造改善事業	朝日漁協	湖北町尾上	蓄養殖施設	426㎡ 47,200
		海津漁協	マキノ町海津	蓄養殖施設	15,864
		堅田漁協	大津市本堅田町	漁具倉庫 (鉄骨2階)	2,024㎡ 56,732
		岡山漁協	近江八幡市牧町	漁具倉庫 (鉄骨平屋)	240㎡ 7,882
		朝日漁協	湖北町尾上	荷さばき施設 (鉄骨平屋)	371.2㎡ 21,898
	県単独事業	堅田漁協	大津市本堅田町	貝類共同作業施設	1,309㎡ 73,120
54	第二次沿岸漁業 構造改善事業	堅田漁協	大津市本堅田町	漁具倉庫 (鉄骨2階)	2,177㎡ 70,630
		朝日漁協	湖北町尾上	漁具倉庫 (鉄骨平屋)	1,211㎡ 61,684
				漁船上架施設	8,233
		中主漁協	中主町菖蒲	漁具倉庫1棟 (鉄骨平屋)	240㎡ 11,229
		堅田漁協	大津市本堅田町	地下タンク	40kℓ 17,440
		朝日漁協	湖北町尾上	地下タンク	30kℓ 11,545
		三和漁協	安曇川町四津川	荷さばき・共同作業施設 (鉄骨平屋)	136㎡ 20,280
		びわ漁協	びわ町八木浜	荷さばき施設等 (鉄骨2階)	108㎡ 9,038
		中主町漁協	中主町吉川	荷さばき施設 (鉄骨平屋)	89.6㎡ 8,300
	県単独事業	堅田漁協	大津市本堅田町	漁業会館 (鉄筋コンクリート2階)	508㎡ 70,000
		朝日漁協	湖北町尾上	漁業会館 (鉄筋コンクリート3階)	928㎡ 132,080
55	第二次沿岸漁業 構造改善事業	守山漁協	守山市木ノ浜町	漁具倉庫 修理場	609㎡ 324㎡ 51,359
		堅田漁協	大津市本堅田町	活魚車	1,920
	県単独事業	西浅井漁協	西浅井町大浦	漁業会館 (鉄筋コンクリート2階)	165㎡ 24,326
		守山漁協	守山市木ノ浜町	漁村センター (鉄筋コンクリート2階)	747㎡ 98,000
	漁村緊急整備事業	沖島漁協	近江八幡市沖島町	漁村センター (鉄筋コンクリート3階)	730㎡ 151,500

※実施場所は整備当初の地名を記載